

第490号 2015. 12/ 1

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
 東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321
 URL:http://www.ejp.or.jp FAX 03(3541)4324
 発行人 高橋 廣

目	次
前期技能検定合格発表(合格者名簿)…………… 1	ノウハウと特許…………… 4
連合会 第178回理事会を名古屋にて開催… 3	事務局レポート…………… 5

おめでとうございます 前期技能検定合格発表 プラスチック成形技能士が誕生しました

平成27年10月2日前期技能検定試験の合格発表が行われました。東京都ではプラスチック成形職種「射出成形作業」で1級23名、2級49名、総計72名の技能士が誕生しました。

今年度東京都の「射出成形作業」の合格率は1級32.4%、2級51.6%、合計では43.4%。これに対して全国ベースは1級22.6%、2級36.2%、合計では31.4%ですから比較的好成績です。

今年度から実技試験の実施方法に関し、受検成形材料を無償支給に変更し受検者の経費負担を削減し、実技試験当日の立会検定員の人数を増強し、公平・堅確性を向上させました。それ以外にも多々改善を図りましたが、試験中今回の変更によ

る混乱は一切生じていません。

又、工業協会では技能検定に向けて各種実技講習会を開催しています。同講習会は単に試験を突破するだけを目的としていません。あくまでも成形作業の基本を確認して頂く事に重点を置いています。従って平素の作業現場でもきっと役立つかと思えますので積極的に活用願います。

末筆となりましたが、今年度も会場提供を頂いた東京都立中央・城北職業能力開発センター板橋校様を初め、数多くの皆様のご支援・ご協力のもと、特に大きな事故・怪我無く無事終了いたしました。この場をお借りいたしまして、心から御礼申し上げます。

平成27年度 前期技能検定「プラスチック成形」東京都 合格者名簿

1級技能士「射出成形作業」(23名)

氏名	勤務先	氏名	勤務先
藤本 雅之	吉田テクノワークス株式会社	横山 悟	株式会社 ニップラ
中平 悠	吉田プラ工業株式会社	渡辺 敏明	新興産業株式会社
高橋 将太	村角工業株式会社	菅 大有	吉田テクノワークス株式会社
細谷 政博	株式会社 池田製作所	山口 晴寿	株式会社 サトーボーサー

氏名	勤務先	氏名	勤務先
田畑裕樹	吉田ブラ工業株式会社	飯野将行	天馬株式会社
張貝雄一	株式会社 荒川樹脂	大沼謙二	天馬株式会社
石田和也	協和電機化学株式会社	山内博文	天馬株式会社
飛嶋正実	鈴野化成株式会社	齋藤泰勝	天馬株式会社
川崎昌則	有限会社 川分合成製作所	笹山登央	株式会社 第一化成製作所
北川俊浩	株式会社 イワコー	松尾論	株式会社 青野工業
川村訓康	日亜化学工業株式会社	芳賀溪佑	光プラス株式会社
大澤敏夫	株式会社 DJK		

2級技能士「射出成形作業」(49名)

氏名	勤務先	氏名	勤務先
芝田大祐	株式会社 ニップラ	小松裕治	天馬株式会社
松原博	株式会社 ハヤトエンブラ	土東亮	アマノ株式会社
古谷朋一	住友化学株式会社	白幡和暉	株式会社 サトーゴーセー
工藤真	住友化学株式会社	大越昇	セントラルグラスモジュール株式会社
内海好博	住友化学株式会社	坂本光二	セントラルグラスモジュール株式会社
菅原耆成	株式会社 サトーゴーセー	伏木孝紀	ツバキ山久チエイン株式会社
宍戸宏壽	豊合成樹脂株式会社	堤信一	ツバキ山久チエイン株式会社
藤本拓也	吉田ブラ工業株式会社	塩沢剛	山下電気株式会社
野本恭兵	吉田ブラ工業株式会社	伊藤正憲	山下電気株式会社
矢島利光	株式会社 吉野工業所	丁子谷貴哉	山下電気株式会社
三浦央士	株式会社 吉野工業所	黒澤正和	株式会社 日昌製作所
齋藤悠	株式会社 日新工業製作所	関孝行	株式会社 日昌製作所
瀬能申吉	天馬株式会社	山田東	かねひろ株式会社
石塚信洋	天馬株式会社	矢萩健二	株式会社 荒川樹脂
宮城泰貴	天馬株式会社	浅川卓磨	株式会社 荒川樹脂
大向群	天馬株式会社	武藤勝彦	株式会社 NBCメッシュテック
薄井孝	天馬株式会社	内野彰	興和化成株式会社
久保勝	日立造船株式会社	水野浩司	天馬株式会社
吉野健太	株式会社 日本製鋼所	宍戸文哉	天馬株式会社
茶屋勇人	株式会社 日本製鋼所	野内健史	天馬株式会社
日置翔悟	株式会社 日本製鋼所	富永彰紀	天馬株式会社
田原直人	有限会社 タカギ製作所	遠藤亮	株式会社 DJK
田原裕樹	有限会社 タカギ製作所	加納宏	白金樹脂工業株式会社
須藤智信	白元アース株式会社	今野新悦	アイ・アンド・ビー株式会社
松井慎治	日鋼YPK商事株式会社		

連合会、名古屋プラスチック展会場の ポートメッセ名古屋にて第178回理事会を開催

平成27年10月8日(木)全日本プラスチック製品工業連合会の第178回理事会が、ポートメッセ名古屋・交流センターにて開催されました。この時期、名古屋プラスチック工業展が同会場で開催中であり、全国4地区工業協会の役員の皆さんが見学を兼ねて集まりました。

席上、川寄連合会長から以下の挨拶がありました。



「今年は台風、風水害、地震、火山の噴火、竜巻と天災の非常に多い年ではなかったかと思って居ります。

さて、6月の総会以降、我が国にも様々な問題がありました。特に、国際的にはオリンピックの関連で国立競技場建替え問題、さらにエンブレム問題でも我が国としていやな思いをいたしました。先日来のラグビー・ワールドカップに於ける日本チームの大活躍、そして北里大学の犬村博士、東京大学の梶田教授の二人のノーベル賞受賞発表で、ホットした気持ちでいます。

政治的にも安倍内閣は日米安保条約の改正も強行採決で乗り切りました。

マイナンバー制度もいよいよ動き出しました。

また、第2次のアベノミクス(新3本の矢)も発表されました。(強い経済、子育て支援、社会保障) だそうですが、第1次アベノミクス(金融政策、財政政策、成長戦略)の総括、評価されていない中、6本の矢が存在し焦点が絞り難い思いも致します。

一方、グローバル経済社会においては、「中国経済の減速」が現実のものとなって参りました。我が国は勿論世界経済に大きな影響を及ぼすのではないかと懸念する次第であります。

その他のグローバル経済的な面からも、以下の

長期的な問題が含まれて居ります。

1. アメリカの金利引上げの時期と低発展途上国への影響
2. 環太平洋経済連携協定(TPP)問題の具体的な中身と内容、そしてその影響
3. フォルクスワーゲンの不正問題とその制裁処理

我々の業界については、現在のところあまり元気の良い話は聞こえて参りません。過去に海外に流失した仕事の円安による回帰についても、例え大口の話はあっても価格的には旧来の外国並みの価格と言う事で商売は結実しないと言う様な話を時々耳に致して居ります。具体的な業界の状況は、7~9月の景況感調査を待たねばなりません。本日専務から速報ベースで報告があるものと思われれます。我が国のこれからの経済には様々な変動要素が含まれていることを申し上げまして挨拶に替えさせていただきます。」

議事に入り、報告事項で技能検定推進委員会より、前期技能検定実技試験については全国ベースの結果が出ていないため、愛知県が報告された。

自動車ガイドライン・フォローアップ調査結果では、連合会会員40社より回収した調査票を産省へ提出した。補給品値決め、金型保管費用の負担、原材料価格、エネコストの価格転嫁、コストダウン要請への対応その他について結果が報告された。

樹脂バレット漏出対策アンケート結果は、プラ工連から5年毎にアンケート協力依頼があり、今回は7月に会員にお願いした。結果、成形加工業からのアンケート集計の約半分を占める回収ができた。管理体制、発生源対策、漏出防止で成形加工業における改善がなされた。

次に審議事項1では、平成28年新年賀詞交歓会開催の件が審議され、会場は新橋の第一ホテル東京で開催することになりました。

その他報告事項では、最近の電力料金負担状況について、事務局より説明。

東日本A社の場合：夏場8,9月の単位電力料金を見ると、27年は前年比▲13.5%(26年は前年比+6.6%)であった。この要因は、燃料調整費が本年に入り下がって(特に夏場以降は減少幅が大きくなって)いることによるとのことでした。

以上

ノウハウと特許

ノウハウ、特許などの権利を知的財産権といい、新製品の販売を有利に展開する上で、これらの権利を保護または確保することは不可欠である。

物を生産するときに、ある技術的知識や経験がないとうまく製品を作れないことがある。このような技術的知識や経験がノウハウである。ノウハウは権利として法的に保護されるものではなく秘密事項として社外流出を防ぐしかない。しかし、最近では従業員の転職、海外生産などの機会にノウハウが漏洩することが問題になっている。その方策として、従業員には雇用契約で機密保持の遵守を義務付けている。また、海外生産では、雇用契約だけでは漏洩防止できないので、ノウハウに関することをブラックボックス化する対策もとられている。しかし、長い目でみるとノウハウは外部に流出することは避けられない。また、競合会社はノウハウがわからなくても製品が出来ていることを知れば、いずれ同じ製品を作ることは可能になる。そのため、改良技術による製品を次々と開発することで競合会社の追従を許さないように、たゆまぬ開発努力をすることが必要である。優れたノウハウをもとにして生産された差別化製品は商品価値が高くなる。また、優れたノウハウからなる製造技術を他社にライセンスする場合には、それに合った対価を要求できるので知的財産価値は高まることになる。

一方、特許は権利として保護されるので、競合製品が自社の特許を侵害していれば、警告したのち特許係争に持ち込み、勝訴すれば生産の差し止め、損害賠償請求などができる。また、他社から特許使用の申し入れがあれば、適正な対価を請求して実施許諾することもできる。従って、新製品を開発し販売開始するに先立って特許を取得することは開発者メリットを得る上で重要であり、知的財産権と呼ばれる所以である。ただ、特許の取得においては、新規性、開示性、進歩性の3つの要件を満足するか審査される。

新規性については、次の①～③の従来技術と比較して判断される。

- ①日本国内または外国において公然と知られた技術（公知）
- ②日本国内または外国において公然と実施された技術（公用）
- ③日本国内または外国において頒布された刊行物に記載されている技術又は電気通信回線を通じ

て公衆に利用可能となっている技術

開示性については、ノウハウとは異なり特許は公開することが前提になる。そのため、特許明細書の中には請求範囲、実施例などを記載することが必要になる。また、特許審査過程では、他社からの異議申し立てにも対応しなければならない。

進歩性については、その技術分野に関する通常の知識を持っている人が、出願時を基準としてそれ以前の技術水準から容易に思いつかないことが必要であり、従来技術からの進歩の度合いによって判断される。

このような判断基準をもとに特許庁の審査官によって「特許性あり」と判断されれば特許として成立する。しかし、特許の存続期間は出願した日から20年である。ものづくりの現場からみると、20年という期間は意外に短いものである。特許が失効すれば競合会社も自由に生産できるので、自社製品の販売競争力が低下することは避けられない。そのため、基本特許出願後に応用特許を次々と出願することで競合会社の参入を防ぐことが必要になる。

さて、自社の開発技術をノウハウにするか、特許にするか判断することが必要になる。

成形材料の場合は、添加剤、充填材などの配合剤の種類や比率を特定して組成物特許を取得する。もし競合他社の製品に権利侵害の疑念があれば、対象製品を入手して配合剤の種類や比率を分析し自社の特許請求範囲に入っているか判断できる。自社特許に抵触していれば、侵害した会社に警告した上で、警告に対応しないときは特許係争に持ち込むことができる。一方、成形材料（ペレット）のコンパウンディング工程では、ブレンド法、熔融混練法、品質検査法などは、対象製品を入手して分析しても権利侵害か判断できないのでノウハウにする。

成形品の場合は、接合・組み立てに関する製品形状、プラスチックの組み合わせによる複合成形品などは対象製品を入手、解体して調査または分析すれば、自社特許を侵害しているか判断できる。一方、成形条件、金型構造、品質検査法などは、対象製品を調べても権利侵害しているか判断することは難しいことが多いのでノウハウとする。

このように対象製品を入手して調べても権利侵害を立証できないものはノウハウとし、権利侵害を立証できるものは特許にすることになる。（案山子）

事務局レポート

■第347回 理事会議事録

1. 日 時 平成27年11月18日(水)
15時30分～17時00分
2. 場 所 東京国際フォーラム
ガラス棟 6階「G608」
東京都千代田区丸の内3-5-1
Tel. 03-5221-9040

3. 出席者

大野 泰昭	大井 英一	佐藤 昭
川野 幸博	嶋田 修二	内藤 隆夫
山下慎一郎	平塚 隆文	大川 哲郎
上村 俊彦	長島 勝敏	齋藤 森作
滝口 裕	福田 晴通	肥後 武重
腰越 稔	小松 幹也	関根 忠
小林 輝男	武田 久徳	高橋 廣
	以上出席21名 (理事総数29名)	
古澤 正弘	以上監事1名	

4. 会長挨拶

本日はお忙し中、お集まりいただきまして感謝申し上げます。早いもので今年最後の理事会になります。一年前の理事会では「老舗ミツカン20年の計」のお話をさせて頂きましたが、今年はスーパーのお話をさせて頂きました。

その前に発明協会からの記事をご披露いたします。

発明協会が選ぶ「戦後日本のイノベーション100選」の中には、敗戦もなく魚群探知機や内視鏡の発明がなされ、1950年代に入るとインスタントラーメン・回転すし・スーパーカブ、1960年代には、新幹線・電卓、1970年代には印象深いウォークマン、それにトヨタの生産方式やコンビニエンスストアなどのビジネスモデルも100選に掲載されているようです。リストをながめれば先人の労苦が心にしみ、戦後という時代へと想いは飛ぶと結んでいます。懐かしい商品名がありましたので書き留めておきました。

さて、「総合スーパーは抜本改革で再生めざせ」という記事が新聞に掲載されていました。

総合スーパーが経営不振にあえいでいます。大手各社の決算は赤字となり、大規模な店舗・閉鎖の計画が目白押し、スーパーの閉店は立地



によっては日用品の買物に困る高齢者の増加につながっております。

イオン、セブン&アイ・ホールディングスといった流通大手2グループの2015年2～8月期の決算では、総合スーパー部門はそろって赤字になりました。セブン&アイは今後5年間で40店の総合スーパー店を閉じる計画で、ユニーグループ・ホールディングスも今後最大で50店舗を閉店する方向で検討しています。

総合スーパーは高度成長期、郊外に住宅地が拡大する中で駅前などに新店し成長しました。衣食住にわたる品揃えと安売りで子供のいる家庭を中心に支持されてきましたが、こうした街ではいま急速に高齢化が進み、店舗運営に変化が必要そうです。

再建の軸となるのは食品で、ネット通販が普及しても生鮮品は「目で見て買いたい」という人は多いということです。総合スーパーの不振をよそに食品スーパーは大手も地場企業も売上げを伸ばしていますが、それは地元の野菜や健康に配慮した総菜など品揃えを工夫したからとのことです。

さて、赤字を招いた原因の一つは衣料品など食品以外の分野の不振で、日用衣料チェーンやホームセンター、ドラッグストアなどが豊富な品ぞろえや手ごろな価格で攻勢をかけた結果といえます。一方、近年好調な商業施設にJRの駅ビルや不動産会社が開発したショッピングセンターがあります。こうした施設はまず商圏にあったテナントを自在に集め、売上不振な店はきっぱり退店させることで施設の魅力度を保っております。

総合スーパーの多くは食品以外の売り場も自社やグループ企業が手掛けていることが多いそ

うですが、こうした自前主義をやめ魅力あるテナントを入れていく手もあろうと思います。今日、スーパー、百貨店は大きな曲がり角にきていることは間違いありません。早く対策を打つ必要があるということです。

本日も審議していただく事項が多数ございますのでスムーズな進行をお願いいたします。

5. 議 事

議題1. 経過報告

(1) 役員会等の開催

9月9日 第346回理事会
東京国際フォーラム

(2) 部会・委員会の開催

① 技能検定運営委員会

10月5-16日 後期検定申請受付
東日本プラ工業協会
10月16日 第2回委員会・反省会 板橋校

② 能力開発推進委員会

10月16日 第2回委員会 板橋校
10月24、25日 オーダー講習 ①、② 板橋校
11月14-15日 オーダー講習 ③、④ 板橋校

③ 青年経営研究会 (JPO)

9月29日 役員会 東日本プラ工業協会
10月27日 役員会・情報交換会
ロマーノ五反田
11月6-7日 広島県2社企業見学会
山本製作所・サタケ

④ APM会

10月14日 第168回例会 武蔵CC(豊岡)

⑤ 技能士会

9月19日 講演会 板橋校

(3) 支部会等開催

9月24日 城南支部会 東天紅・高輪店
10月21日 埼玉支部会 浦和「満寿家」
10月30日 品川支部会
レイクウッド総成CC

(4) 協同組合

9月9日 第39回役員会
東京国際フォーラム

(5) 全日本プラ連合会

10月8日 第178回理事会
ポートメッセ名古屋・交流センター

議題2. 会員の入会・退会の件

(1) 退会の部

正会員 1社
会社名 丸工化学(株)
退会理由 12/末 廃業

上記は了承されるとともに、事務局より、新規会員の紹介をお願いした。

議題3. 平成28年新年賀詞交歓会開催の件

標記については、前回理事会にて開催の決議がなされたが、講師等が決まっていなかったため、今回、資料1-4のとおり講師、会場等について諮るもの。

開催日：平成28年1月21日(木)

会 場：上野精養軒 理事会、新春講演会は
2階「竹の間」「梅の間」
貢献者表彰、祝賀会は3階「桐の間」
講演会講師：ロス五輪ゴールドメダリスト
森末 慎二氏

参加会費は1万円(一人当たり)、従来同様に事前振込をお願いする。

会長より、理事の皆様には、是非、複数で参加戴くようお願いをした。

以上について全員異議なく了承された。

【報告事項】

- ・前期技能検定について
- ・連合会 今後の行事計画
年末挨拶回り(12月中旬以降 会長・専務)
新年賀詞交歓会(28.01.29 第一ホテル東京)
- ・地域別電力料金の調査
- ・全国会員アンケート調査(27/9月末実施)
- ・自動車産業取引適正化ガイドライン・フォロー調査結果
- ・協同組合からのお知らせ
タオル幹旋(11月後半)
- ・平成27年度 地域別最低賃金状況
- ・国産ナフサ価格の推移(27/7-9月47,200円/klと低下基調続く)
- ・年賀広告お願い
- ・新年賀詞交歓会の開催案内 今週末に会員宛に発送予定
- ・内閣府発表の四半期別GDP資料：27/7-9月期GDP、及び翌日11/17日経記事
- ・サタケの精米機「ギャバミル」：幹旋販売
- ・経営改善部会より以下報告。
次回(28/3月)の改善発表大会はお休みし、体制を立て直して次々回より再開予定。

以上、予定されたすべての審議が終了し議長は17時00分閉会した。

都立中央・城北職業能力開発センター板橋校 プラスチック加工科（6ヶ月コース）



求人のお願いと4月生募集



プラスチック加工科では、射出成形技術について6ヶ月の訓練を行っています。訓練生は、技能検定の射出成形作業2級程度の技術習得を訓練目標とし、プラスチック製品等の製造業に就くために成形条件の設定や不良対策、金型の分解・組立てなどができるよう、日々訓練に励んでいます。

つきましては、訓練生向けの求人情報がありましたらご提供をお願いします。また、平成28年4月入校生の追加募集を予定しておりますので、以下の通りご案内します。

【4月生 追加募集】（予定）

- | | |
|-------|---|
| ■訓練内容 | ・金型の取り付け/取り外し
・成形条件の設定/不良対策
・金型のメンテナンス
・仕上げ作業等の加工技術
・製図/CAD操作 |
| ■授業料 | 無料 |
| ■選考内容 | 筆記試験（国語・数学）・面接 |
| ■募集期間 | 平成28年2月25日（木）
～3月9日（水） |
| ■選考日 | 平成28年3月16日（水） |



射出成形機取り扱い実習の様子

求人、訓練生募集、見学等のご不明な点につきましては、お気軽にご相談ください。



金型の分解・組立て作業



成形機（日本製鋼所J85EL II、他6台）



生徒作品（マグカップ、ヘアブラシなど）

担当指導員から一言

プラスチック加工科では、実務経験が無い方やプラスチック成形に関する知識が全くない方でも、懇切丁寧に指導いたします。訓練では、基本測定（製品の測定）から金型の構造、成形機の構造、材料、製品成形などの技能・技術を段階を踏んで習得できます。訓練修了時には、与えられた材料や金型、成形機などに応じた適切な成形条件を選択できる技能者になれます。また、東京都の受託訓練制度を活用し訓練生を派遣する企業もございます。

お問い合わせは

東京都立中央・城北職業能力開発センター 板橋校

174-0041 東京都板橋区舟渡2-2-1（JR埼京線 浮間舟渡駅 徒歩3～4分）

電話 03-3966-4131 FAX 03-3966-3161

担当指導員 臼井、三宮

業界OBの皆様の年金制度を継続します

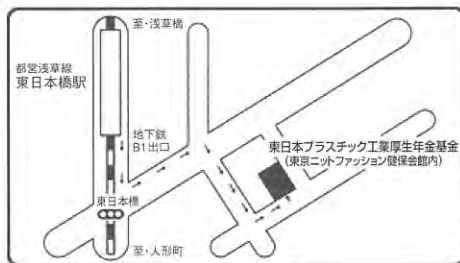
当基金では、昨年4月施行の厚生年金基金制度法改正に対し、東日本プラスチック業界のOBの皆様の老後安定に貢献すべく、持続可能な制度設計へ抜本改訂を行ったうえで年金制度を継続する方針を決定いたしました。現在、加入中の事業所様の引続きのご支援をお願い申し上げますとともに、未加入の事業所様におかれましても、新制度へのご加入をご検討賜りたくお願い申し上げます。

法改正の内容や当基金の検討状況など、ご質問等がございましたら当基金までお寄せください。

東日本プラスチック工業厚生年金基金

理事長 宮越 健
常務理事 栗城 靖

住所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-5-13
東京ニットファッション健保会館2階
TEL 03-3862-4308 FAX 03-3851-7976



東日本プラスチック製品工業協同組合

～今後とも、会員企業のお役に立つよう下記の事業に
積極的に取組んでまいります～

- 各種ユニフォーム・事務服、安全靴、タオル等斡旋
- ETCカード事業、廃プラ事業
- 団体医療共済保険、PL保険、団体生命保険
- ソフトサラシタオル斡旋
- ポリマー辞典、サタケ保存食の斡旋

上記事業を一般社団法人東日本プラスチック製品工業協会と連携して実施しています。ご用命は下記へ。

東日本プラスチック製品工業協同組合
代表理事 嶋田 修二
電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324